

**総合計画審議会専門部会での意見等対応調書
(経済部会)**

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(1) 農林業の振興				
分野	①農業[経営]				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	<目標指標> (1) 農業経営の安定化	林委員 (7/1)	・平成32年度の農業総生産額を示すべきでは。	【7/1専門部会での回答】 ・あまりにも曖昧すぎる要素が多いのが現状であり、このような表現にしているということでは理解いただきたい。 ⇒説明欄の※以下を「TPPやEPA、FTAなどの貿易交渉による今後の農畜産物価格や経営所得安定対策への影響が不透明であり、農業総生産額については、金額による明示的な目標を掲げることが困難なため、文章表現とした。」に修正する。	農政
		辰尾委員 (7/1)	・金額的な目標が掲げられるのが本来であろうが、なぜそうならないか、TPPの関係で生産額をどうとらえるかは説明しにくいと思うので、その辺りの事情を補足説明として付け加えてはどうか。		
2	<目標指標> (2) 担い手、労働力の確保 (3) 環境への負荷に配慮したクリーン農業の推進全般	林委員 (7/1)	・①生産性より、安心安全、有機栽培・減農薬栽培等に関心がある世の中となっているので、それを目標数値とし、その中で細部に渡って目標値をつくる必要がないか。 ・②安心安全という意味で、認定者数の割合は大切。認定を受けなければ出荷も厳しくなるというようなブランド化を進めていく必要がないか。	【7/1専門部会での回答】 ・全てのものを事細かに数値化できるわけではなく、一つの物差しを提示するに留めざるを得ないものもあることを理解いただきたい。 ⇒次のとおり表現を変更し、修正する。 ・目標指標名「エコファーマー認定農業者数割合」を「エコファーマー新規認定農業者数」に修正。 ・説明「全農家戸数に占めるエコファーマー認定農業者数（戸数）の割合」を「エコファーマー新規認定農業者数（平成27年度からの新規認定戸数）」に修正。 ・当初数値を「—」に、年度は空欄に修正。 ・中間数値を「—」に、年度は空欄に修正。 ・目標数値を「140戸」に修正。	農政
		土田部会長代理 (7/1)	・（①に関して）作物によってはすぐわないものもあり、意図することをやろうとすると細かい数字をたくさん出さなければならない。 ・（②に関して）総合計画にそのような形を求めるとすると、エコファーマーがぎりぎりの線で、現場でやっていることを、総合計画の指標とすることは難しいのでは。		
		辰尾委員 (7/1)	・エコファーマーを出すのであれば、補足説明をする必要があると思う。表現を工夫してみてもどうか。		
		土田部会長代理 (7/1)	・目標値設定は難しいと思うが、適切な表現の仕方を考えていただきたいと思う。		

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(1) 農林業の振興				
分野	①農業[経営]				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
3	現状と課題からの流れについて	新谷委員 (7/1)	<p>・現状と課題に「環境への負荷に配慮した生産環境づくりが必要」という課題が提言され、めざす方向で「安全・安心な農畜産物が安定的に供給できるようにします」と、安全・安心の言葉になり、施策や目標指標では、クリーン農業やエコファーマーということで、結びつかない。全体的な統一感を保った方が良いのでは。</p>	<p>【7/1専門部会での回答】</p> <p>・ご意見を踏まえ、現状と課題からめざす方向、施策、指標へとつながる形で言葉を整理したい。 ⇒ご意見を踏まえ、現状と課題、めざす方向、施策の主な内容を次のとおり修正する。</p> <p>・〈現状と課題〉3番目の2行目「栽培方法とともに、環境への負荷に配慮した生産環境づくりに努めていくことが必要です。」を「環境に配慮した生産環境づくりに努め、クリーン農業を推進することが必要です。」に修正する。</p> <p>・〈めざす方向〉4番目の「安全・安心な農畜産物が安定的に供給できるようにします。」を「環境への負荷に配慮した生産環境づくりに努め、クリーン農業を推進します。」に修正する。</p> <p>・〈施策〉(3)※クリーン農業の説明文中「安全・安心、高品質な農畜産物を生産、供給する農業のことです。」を「安全・安心、高品質な農畜産物を生産、供給する農業のことで、有機農業やエコファーマーなどを指します。」に修正する。</p>	農政

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(1) 農林業の振興				
分野	②農業[生産基盤や生活環境]				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	優良農地、防風林について	林委員 (7/1)	<p>・優良農地の定義はあるのか。また、施策の主な内容に、防風林機能の維持向上とあるが、防風林の機能の促進など文言を変えて、音更は防風林に包まれて風害がないというような表現はいかがか。防風林を確保しようとするには農家の方は効率とか生産性とかいうようなことを考えて防風林がどんどんなくなっているが、それでも優良農地というのか。</p>	<p>【7/1専門部会での回答】</p> <p>・数値的なもので優良農地といえるものはない。一部国有林の防風林があるが、基本的に町有保安林、国有林保安林は減少していない。耕地防風林更新の助成制度はあるが、強制的に耕地防風林をなくさないでくださいというような状況になく、数値的な押さえ方は難しい。</p> <p>⇒優良農地の定義について、国では「一団のまとまりのある農地や農業水利施設の整備等を行ったことによって生産性が向上した農地など、良好な営農条件を備えた農地」とされている。防風林の整備は要件とはされていない。防風林は、強風による土壌の飛散や農作物被害の低減効果を期待するもので、その機能の維持・向上には、間伐・枝払いや主伐、植栽など継続的で行き届いた管理が必要となる。表現について、施策(1)④のうち、「防風林の機能の維持、向上を促進します。」を「防風林の機能の維持、向上に努めます。」に修正する。</p>	農政
2	<目標指標>(2)土地基盤や用排水の整備	新谷委員 (7/1)	<p>・明渠排水路に理想的なゴールはあるのか。</p>	<p>【7/1専門部会での回答】</p> <p>・終わりが無い性質のものと捉え、10年間でどれだけ整備水準が進んだかという物差しで進捗状況をおさえていくしかないと考える。</p> <p>⇒上記回答に追加・変更等なし。</p>	土地改良

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(1) 農林業の振興				
分野	③林業				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	全般	勝野委員 (7/1)	・植林に対する町の助成制度のことについてもう少し踏み込んでみてはどうか。総合計画に入れるかどうかは別な話として、32年度に30ヘクタール植林するという目標値があるが、更新に当たっては、多いときは多い、少ないときは少ない、というのではなく、平準化を図れるよう検討していただけないか。	【7/1専門部会での回答】 ・助成制度を活用してもらう手法は検討していかなければならないと考えている。後段については予算との絡みが強く、財政当局と協議してということになるので、総計とは違うかもしれないが、考えていかなければならない。 ⇒耕地防風林の助成制度については、別途、要件等の検討を行う。植栽面積の目標数値30haについては、町有林・保安林の伐期到来状況を考慮すると、H27年度から毎年30haで平準化することが必要と認識している。表現の修正は行わない。	農政

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(2) 商工業、観光の振興				
分野	①商業				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	施策(1)商業の振興に向けた支援② 他、「商店街」の表記について	坂井委員 (7/1)	・「商店街」に明確な定義はないが、中小企業庁などによれば、30以上の商店が集まって商店街を構成するというのがあり、そのような構成をなしていないところがあるので、この表現は検討したほうがよいのでは。	【7/1専門部会での回答】 ・再度詰めさせていただきたい。 ⇒・<くめざす方向>の文面と施策の主な内容の「商店街」という表現を「商業者」に修正する。 ・<現状と課題>の「また、商店街は、地域コミュニティの拠点」という表現は「また、地域に根ざした商店は、地域コミュニティの拠点」に修正する。	商工観光
2	施策と目標指標について	坂井委員 (7/1)	・施策(1)、(2)が目標指数とリンクしていなく、検討の余地がある。例えば、目標指標を商工会員数ではなく、組織率としてはどうか。	【7/1専門部会での回答】 ・再度詰めさせていただきたい。 ⇒修正は行わない。 ・(1)を組織率とした場合は、分母となる全体事業所数は北海道商工会連合会から提供される数字を使用することとなるが、この数字は、経済センサスとか隔年で調査した数字を元にしており、毎年度の増減に対応した数字となっていないことから単純比較ができない。また、会員数が順調に増えても、全体事業所数が増えて、突然組織率が低下することが考えられ、指標として採用できない。 ・(2)については、商業者の利用件数とすることも考えられるが、1件あたりの利用金額が多い年と少ない年があった場合、毎年の利用件数を単純比較できなくなることから、新規申し込み者の全体金額としている。	商工観光
3	記述内容全般について	坂井委員 (7/1)	・商工会が経産省に提出した経営発達支援計画の内容を踏まえた記述を検討してほしい。	【7/1専門部会での回答】 ・文言等を記述することは可能だと思うが、総合計画は、個々の商業者を支援していくための計画ではなく、大きなくくりで考えていく必要があると思う。 ⇒・<現状と課題>3番目の記述中、「ハード・ソフト両面にわたって」を削除する。 ・<くめざす方向>2番目「少子高齢化や・・・を支援します。」削除し、「地域コミュニティの場としての役割を果たし、少子高齢化や多様化する消費ニーズに対応していくため、各地域の実情にあった商品サービスを提供する店づくりを支援します。」に修正する。	商工観光

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(2) 商工業、観光の振興				
分野	①商業				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
4	商工業振興資金について	谷内委員 (7/1)	<p>・保証料の補てんがあるというところで非常に素晴らしいが、町内の5つの銀行、4つの支店で枠を持って振り分けてやっているが、利用率は8割以上で足りていない状況で、設備投資の資金として使うには実態に合っていない。目標数値4億9千万の根拠を違う形でやったほうがいいのではないか。枠を各銀行で振り分けること自体もどうなのかと思うので、検討していただきたい。</p>	<p>【7/1専門部会での回答】</p> <p>・指標を商工会員数の組織率と同じように利用率とすることも考えられるので検討したい。商工振興資金は、単に町の融資制度だけが存在しているわけではなく、他の制度とのバランスも踏まえて落としどころを模索しているのが現状で、北海道の融資制度とのバランスも考える必要がある。</p> <p>⇒・<目標指数> (2) 商業者の経営安定に向けた支援の説明欄に「(「工業の育成、支援」と同じ目標指標を採用)」を追記する。</p> <p>・当初数値を、新規利用実績額の数値から、過年度利用者の金額を含めた全体の利用実績額として「2億2千万円」から「5億3千万円」修正し、中間数値を「4億7千万円」から「7億9千万円」に、目標数値を「4億9千万円」から「9億5千万円」に修正する。</p>	商工観光

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(2) 商工業、観光の振興				
分野	②工業、企業誘致				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	全般	坂井委員 (7/21)	・「音更ブランド」と「地域ブランド」という表現が混在しているが、使い分けはあるのか。	【7/21専門部会での回答】 ・使い分けは特にないので、「地域ブランド」に統一したい。 ⇒<現状と課題>の「音更ブランド」を「地域ブランド」に修正する。	商工観光
2	<目標指標> (2) IC工業団地の拡張と、あらたな起業の誘致	谷内委員 (7/21)	・ IC工業団地の拡張について、企業誘致の目標数値が出ているが、面積的な規模などはまだ公表できないものなのか。	【7/21専門部会での回答】 ・ エリアとしてのイメージは持っているが、相手のある話でもあり、また、細かい部分の協議も必要なことから最終的な面積までは示すことはできない。目標指標としては企業立地件数を一つの物差しとしてご理解いただきたいと思う。単純に、新たな企業進出だけではなく、移転も含まれてはいるが、移転に伴って規模が拡大され雇用増が発生しているということもあり、このめざす方向、IC工業団地拡張への取り組みを進めるのが一番のポイントと考え、今後5か年の間にどこまで取りかかれるかというのはあるが、盛り込みたいと考えている。もちろんまだ残りの区画もあるので、誘致する企業数も増やしていく方向性で考えている。 ⇒修正は行わない。	商工観光
3	<目標指標> (1) 工業の育成、支援			・ 説明欄に「(「商業者の経営安定に向けた支援」と同じ目標指標を採用)」を追記する。 ・ 当初数値を、新規利用実績額の数値から、過年度利用者の金額を含めた全体の利用実績額として「2億2千万円」から「5億3千万円」修正し、中間数値を「4億7千万円」から「7億9千万円」に、目標数値を「4億9千万円」から「9億5千万円」に修正する。	商工観光

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(2) 商工業、観光の振興				
分野	③観光				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	全般	坂井委員 (7/21)	・音更町商工会で取り組んでいるメロディーライン構想を、地域のブランド化ということでどこかの施策に入れていただきたい。	【7/21専門部会での回答】 ・例えば、(2)音更の魅力の活用、PRに新たに追記しても問題ないのではないかと考えている。 ⇒施策(2)「音更の魅力の活用、PR」の施策の主な内容に「④音更町商工会と連携して、音更メロディーライン沿線の音更町らしい景観や食、地域資源との融合により音更町の新たな魅力発信を進めます。」を追記する。 「※「音更メロディーライン」とは、音更帯広インターチェンジから十勝川温泉までの観光ポイントを結ぶ、町道の名称です。」の注釈を追記する。	商工観光
2	<めざす方向>5番目	林委員 (7/21)	・めざす方向の5つ目で、「緑」という文言が追加されているが、「花と緑」ではだめか。十勝川温泉にはハナックもあるので、花という文言を追加してはどうか。	【7/21専門部会での回答】 ・「花と緑」ということで、追加して問題ないと思う。 ⇒<めざす方向>の「緑を活かした」を「花と緑を活かした」に修正する。	商工観光
3	施策(1)交流人口の増加に向けた観光振興事業の推進②	林委員 (7/21)	・二次交通というのは、ほんやりとした言葉であって、例えば札幌圏から、千歳圏からというように明記する必要はないか。無理であれば、道央圏、道東圏に対する二次交通の充実というような表現を検討していただきたい。	【7/21専門部会での回答】 ・二次交通という言葉がなくすと、事業展開に影響が出るかもしれないが、道央圏と道東圏の連携というような表現を加えることは可能だと思うので、検討する。 ⇒「二次交通」を「道央圏や道東圏などを結ぶ二次交通」に修正する。	商工観光
4	施策(2)音更の魅力の活用、PR①	林委員 (7/21)	・「食」とは何を指しているのか。食材を指すのか、作っている人を指すのか。	【7/21専門部会での回答】 ・すべてを含んで「食」という解釈。 ⇒修正は行わない。	商工観光
5	<現状と課題>5番目 <目標指標>(2)音更の魅力の活用、PR			・修正案では「旧ホテル跡地に整備される新たな集客拠点施設」としているが、「新たに整備される集客施設」という表現に修正する。 ・観光協会のホームページアクセス数を数値としているが、平成26年度の間数値50万7千件を69万9,714件に、目標数値6万6,000を71万件に修正する。	商工観光

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(3) 連携による産業の振興				
分野	①産業連携				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	目標指標について	林委員 (7/1)	・地産地消や食育に関する目標数値があった方がよいのでは。	【7/1専門部会での回答】 ・音更産のものだけというくくりが難しく、地産地消の割合として評価することは難しい。おとぶけ給食、おおそでくんキッチンなど食育の事業にも取り組んではいるが、これらを具体的に数値化するのは難しいと思う。 ⇒地産地消や食育に関する目標数値の設定は困難なため、目標指標の設定は行わない。 <現状と課題> 4番目の「今後は、」の後に、「農業団体や学校、流通・加工業者などの連携による取り組みや、」を加える。	産業連携
		土田部会長代理 (7/1)	・地産地消については、流通の方に踏み込まざるを得ないが、そこは行政が踏み込みにくいところであるので、それらを踏まえた表現としてはどうか。		

■総合計画審議会専門部会での意見等対応調書

章	1 元気あふれる産業のまち				
節	(4) 消費者、勤労者の保護				
分野	②勤労者福祉				
専門部会名	経済部会				
No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	<目標指標>(1)勤労者の環境向上の支援			・目標指標(1)について、平成26年度中間数値59を70に、目標数値の70事業所を90事業所に修正する。	商工観光